



JAPAN INTERIOR DESIGNERS' ASSOCIATION

'64 1 月号

目 次

1. 新年にあたって 山口東京支部長
2. 参加希望者を募集
6月上旬より1ヶ月間
第2回欧米デザイン視察団
3. 珍芸もで、にぎやかに
東京支部新年会
4. 海外デザイン視察報告
袴田・五十川両会員
大阪支部月例会
5. 公報板のデザインで協力
……大阪支部
6. 渡辺・原・野水の3会員入選
第2回コスガコンペ
7. 高薮・渡辺両氏の帰国報告で
12月の東京支部月例会
8. 移民で見たブラジルの姿
……渡辺優氏
9. 会員の近況

日本室内設計家協会

新 年 の 挨 拶

東京支部長 山 口 勇 次 郎

明けましておめでとうございます。

我々の協会が生れて5年、先輩会員諸氏の御努力のお蔭で、当協会への認識が日本国内ばかりでなく欧米諸外国に迄、ひろがりつゝあることは全く喜ばしい事です。それに本年はわが国ではオリンピック開催があり、イタリアではトリエンナーレ展、アメリカではニューヨーク博など、多彩な催しもあつて協会主催の視察団も昨年に引きつゞいて、もたれることになつておりより一層の効果も期待される所です。この年にあたつて、今まで殆どが、正会員のみで動いてきた協会構成を大巾な賛助会員の勧誘とその入会によつて対外的な分野の活動も含めて事業を伸ばしてゆくべく計画しており、新年早々そのように委員諸兄に動いていただいております。このことは、委員だけではとうていうまくゆくものではなく、常に会員諸兄と連絡をとりながら進められるべきものですので、御協力を切にお願いいたします。そして月例会、研究会等をますます盛大に有意義に開催し、また協会独自の展示会等を設けてお互の研究発表や海外進出にまでもつてゆくだけの力を培つてゆきたいものです。会員の御健康と御発展を心から念願しております。

以 上

参加希望者を募集(6月上旬より1ヶ月間)

第二回欧米デザイン視察団

昨年狩野理事長以下14名で欧米を視察し、多大の成果を収めた「欧米デザイン視察団」の経験をもとに東京支部では旅行の一切の業務を代行した西武トラベル・サービス株式会社と打合せた結果、本年度はトリエンナーレ展(伊)及びニューヨーク世界博覧会の視察を中心に次の様な原案を作成し視察希望の申込を募集することになった。日程は4月末で申込を締切り参加希望者を集めて原案をもとに審議し最終決定をすることになるが、一般の団体旅行と違い各国の設計家協会、設計事務所、研究所、家具工場、美術館等、事前に連絡していくために短期間に成果を上げることが可能でインテリアデザイン関係者の見学には大変便利である。

第1案 欧州一周コース

・旅行総経費 852,000円

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. 交通費(航空・交通機関2等) | 2. ホテル代 |
| 3. 食事代(三食) | 4. 視察訪問費 |
| 5. 税及びサービス料 | 6. 見学料を含む |

日付	地名	時刻	摘要
6/12	東京発	12:00	空路カイロへ
6/13	カイロ着	01:55	カイロ市内観光及びピラミッド見学(特別バスにて)
6/14	カイロ発	11:15	空路ローマへ
	ローマ着	12:40	午後:自由行動
6/15	ローマ		終日特別バスにてローマ市内観光及び古代遺跡見学

6/16	ロ　　マ		午前：ローマ市内美術館見学 午後：自由行動
6/17	ローマ発	10:32	鉄道にてフローレンスへ
	フローレンス着	13:38	着後ホテルへ　午後：自由行動
6/18	フローレンス		有名美術館(2ヶ所)見学
6/19	フローレンス		有名美術館(2ヶ所)見学
6/20	フローレンス発	09:04	鉄道にてミラノへ
	ミラノ着	12:48	着後ホテルへ　午後：自由行動
6/21	ミラノ		トリエンナーレ展見学
6/22	ミラノ		午前：ムナリ氏の事務所訪問 午後：家具工場見学
6/23	ミラノ発	10:30	空路チューリツヒへ
	チューリツヒ着	11:35	着後ホテルへ　午後：自由行動
6/24	チューリツヒ		午前：市内有名家具ショールーム見学 午後：チューリツヒ市内観光(特別バスにて)
6/25	チューリツヒ発	10:10	空路パリへ
	パリ着	11:10	着後ホテルへ　午後：自由行動
6/26	パリ		午前：ルーブル美術館見学
	パリ		午後：パリ市内観光(特別バスにて)
6/27	パリ		午前：印象派美術館見学 午後：ベルサイユ宮殿見学
6/28	パリ発	08:50	空路マドリッドへ
	マドリッド着	10:45	着後ホテルへ　午後：闘牛見学
6/29	マドリッド		午前：ブラド美術館見学 午後：特別バスにてマドリッド市内観光

6/30			午前：自由行動
	マドリッド発	12:35	空路 ロンドンへ
	ロンドン着	14:35	着後ホテルへ 午後：自由行動
7/1	ロンドン		午前：英国デザインセンター見学(COVID) 午後：ロンドン市内観光バスにて(ピカデ リーサーカス, リーセントストリート等)
7/2			午前：大英博物館 見学 午後：出発迄自由行動
	ロンドン発	18:50	空路 ハンブルグへ
	ハンブルグ着	20:40	着後ホテルへ
7/3	ハンブルグ		午前：家具ショールーム見学及び家具工場視察 午後：ハンブルグ市内観光(特別バスにて)
7/4	ハンブルグ発	09:25	空路 コペンハーゲンへ
	コペンハーゲン着	10:30	着後ホテルへ 午後：自由行動
7/5	コペンハーゲン		終日：コペンハーゲン市内観光(工芸コース)
7/6	コペンハーゲン		午前：自由行動 午後：家具工場見学
7/7			出発迄自由行動
	コペンハーゲン発	15:10	空路 東京へ
7/8	東京着	16:35	着後入国手続、解散

第2案 欧米一周コース

・旅行総経費 1,065,000円

経費内容は第1案に同じ

日 付	地 名	時 刻	摘 要
1 日目より 25 日目迄第 1 案に同じ			
7/7	コペンハーゲン 発	12:00	空路ニューヨークへ
	ニューヨーク着	16:55	着後ホテルへ
7/8	ニューヨーク		終日：ニューヨーク世界博覧会視察
7/9	ニューヨーク		午前：ハーマンミラーショールーム見学 午後：メイシー百貨店及ギンペルス百貨店 見学
7/10	ニューヨーク発	10:00	空路デトロイトへ
	デトロイト着	10:35	着後ホテルへ 午後：ウエイン大学訪問(ミ ノル山崎氏作品見学の為)
7/11	デトロイト		午前：ガスカンパニー訪問(ミノル山崎氏 作品見学の為) 午後：自由行動
7/12	デトロイト発	10:35	空路シカゴへ
	シカゴ着	11:56	着後ホテルへ 午後：自由行動
7/13	シカゴ		終日：MERCHANDISE MART (家具ショールーム見学)
7/14	シカゴ発	09:50	空路ロスアンゼルスへ
	ロスアンゼルス着	11:45	着後ホテルへ 午後：アートセンタースクール 訪問
7/15	ロスアンゼルス		終日：デイズニーランド見学
7/16	ロスアンゼルス発	11:00	空路ホノルルへ
	ホノルル着	14:20	着後ホテルへ

7/17	ホノルル		終日：特別バスにてオアフ島一周観光
7/18			出発迄自由行動
	ホノルル発	15:50	空路東京へ
7/19	東京着	19:40	着後入国手続、解散

尚、詳細な問い合わせは下記にお願い致します。

中央区銀座東1の2（東貨ビル内）西武トラベル サービス銀座営業所

TEL (535) 5750～4 井上於菟氏

珍芸もでてにぎやかに 東京支部新年会

会員の懇親を目的に開かれた東京支部の新年会は大河原会員の御世話で、1月11日午後6時から新宿芙蓉会館で山口支部長の挨拶で開かれました。普段は立派な紳士諸兄も、三味線のバチ当りもさえるに従って美声、珍芸など続出。特に岩瀬、中村(富)、加藤、大泉の四会員はなかなか多芸で当日の敢闘賞ものでした。まだまだ歌も飛び出る勢でしたが10時近くなつたので、加藤会員の音頭で手締めとなり、今年も協会の発展のために頑張ろうと、閉会になりました。

(出席者) 山口、岩瀬、大泉、加藤、中村(富)、梶、西海(健)、

大河原、原、西沢、竹内、内藤、坂田、広田、中井、

榎田、鎌田、中村(圭)

海外デザイン視察報告と討論会

大阪支部 月例会

大阪支部12月例会は12月7日(土)P.M 2~8 迄珠紅屋で行われました。

○ 海外デザイン視察報告会

講師の1人山本氏が急病の為、袴田、五十川両氏の共同に依るスライドを主にした報告がなされた。熱心なお二人、常に家具をあらゆる角度から検討した跡がそのスライドにも現れ、その説明も共同でなされる等、延々3時間余、500枚に余るスライドを一気にやられた。山本氏の穴をどのように埋めようかと腐心した司会者側も、逆に時間の延長を気にし時計と残りのスライドをにらめっこする始末。来場者も例になく多く、盛会裡に終った。

○ 討論会

報告会の延長により晚餐会と共にこれを行つた。委員長の急務欠席と提案者の遅参とにより先ず討議主題より外れてフリートーキングで始められた。然し今日討論会を行うことになつていたので、その委員会における経過を説明、委員会への提案者樋口委員より提案理由の説明を聞き、全員これを了承して討論に入つた。

討論のテーマは「現時点における世界と日本のインテリア・デザイン」で、先ず「インテリア・デザインとは何か」から入り「家具デザイナーはプロダク・デザイナーかインテリア・デザイナーか」「建築家協会と建築士会との論争」が述べられ「デザイン料の問題」「デザイン教育の立場より」と活潑なる討論がなされた。

尙「今後は長とつく人が一つのテーマで会合の度に発表し、それにより討論しては」との提案も出た。

公報板のデザインで協力

—— 大 阪 支 部 ——

大阪市は昭和38年度予算に依り現在市内数ヶ所に設置してある公報板を新たに作る為、そのデザインと製作の斡旋を大阪デザインハウスに依頼された。大阪デザインハウスはその一事業である都市美化に関連してこれを討議し、これを日本室内設計家協会大阪支部、J.D.A. 関西支部、日宣美大阪支部等6デザイン団体に呼びかけることにし、ハウス実行委員の樋口氏を通じて内示があつた。

渡辺・原・野水の3会員入選

—— 第二回 コスガ コンペ ——

昨年行われた第二回コスガ ファニユア デザイン コンペは多数の応募者の作品を厳正に審査していたが、去る11月1日、18名の入選者を発表した。この中には、渡辺 優（フリー）、原 好輝（東横）、野水ユキコ（準会員）の3会員も入選しました。

会員一同を代表し事務局としてお喜び申し上げます。

入選作品は直ちに試作され、1月30日には入選順位が発表されます。

高藪 昭・渡辺 優両氏の帰国報告で

1 2 月の東京支部月例会

出席者 高藪，渡辺，井上，大橋，広田，鈴木（富），梶原，鈴木（栄），
玉田，吉永，原，中村（圭），山口，野水，田村，三宅，中西，
榎田，梶，宮内，西沢，山本，三越 2 名

1 2 月例会は 1 2 月 1 3 日（金）午後 6 時半より平河町の都道府県会館で
2 4 名が出席して開かれ、産業工芸試験所高藪昭氏のアメリカ留学報告及び
会員渡辺優氏のブラジル報告（別稿参照）及びスライドが行われた。

高藪氏の報告は近く工芸ニュースに詳細が発表されるので略したが、項目は
次の様な内容でした。

1. アメリカ家具工業の現状 — 家具の主要産地は、ノース・ウエスタン
及び中部、西部、北中部、東部、南部の各地

2. 室の使い方 — ルームセッティング — 寝室、ダイニング、キッチン、
ベツトルーム、リビングルーム

3. 流通形態 — ショールーム、デパート、家具店、工芸店、
ショールーム（工場自営、その他）

4. フアニチャアマーケット — インテリアデザイナー

5. 家具のスタイル

6. アメリカの住居

7. アメリカが輸入している家具

ユーゴー，デンマーク，イタリー，日本，香港等

移民で見てきたブラジルの姿

渡辺 優氏の月例会報告

ブラジルに渡ったのは4年半前帰つて来たのが二年前、連絡の手違いから一度報告会を流したので、少し古い話になった。

現在は自由になつたが、当時は移民でないと入国できなかったもので、知人にたのんで向うからよんでもらつた形で入国した。2年間は頑張るつもりでした。

移民船はアメリカ経由とアフリカ経由の二つがあり、アフリカ経由の方が面白いところを見られそうなのでアフリカ経由にしました。

自費で2等切符を買い2ヶ月の船上生活の間にポルトガル語の勉強を始めました。2人（奥様同伴）なので、なんとかなるだろうと考えていました。サントス港についた時、皆迎えに来ていてそれぞれ引き取られて行つたのに私達だけ波止場に取りのこされました。

ブラジルという国は、大変国土も広く、世界各国の移民で構成された国でポルトガル人、スペイン人、イタリー人、インデアン等とまつたく雑多で、日本人も40万～50万人いるのですがあまり目立ちません。

私は最初、婦人専門誌（ハウスアンドガーデンのような雑誌）の編集長のところに行き、日本の話を書いてのせてもらおうと思いましたが、話が通じなくて仕事をさせて欲しいとの事だろうと思われ、ジユロンというユダヤ人のデザイナーを紹介され、業界の事情を教えてもらうつもりでしたが、勤めることになつてしまいました。2週間位アシスタントとして勤めました。画（見取図）が書けるので給料も良かったのだと思います。

ブラジルの業界は日本よりおくれていて、グラフィックやインテリアでは

デザイン料だけを別個に支払うというやり方はなく、サンパウロの中心街に約100軒ほど家具等のショールームを持つて営業しています。

＝ 取りにくいデザイン料 ＝

たと建築家は別で、建築家と協同で仕事をする場合は例外的にデザイン料を取っています。

ジュロンの店をやめてからは、日系人と組んでショールームを作り仕事をやってきました。

広告代理店に半日勤めたりしましたが、グラフィック関係にはフリーランスも居て比較的高级でした。特に国際的に見てブラジル独特のものを作るような人はありませんでしたが、それでもサンパウロは南米最大の工業都市で、アルゼンチンから来ているものや、イタリーとかけもちで仕事をしているものもいます。

デザイナーの仕事ぶりを人種的に見ると、スペイン系は才能があり、アメリカ系はスマートといったところで、日本系には2・3の建築家がいるだけでデザイナーはいません。

実質的な面（生産力）はユダヤ人がにぎり上層階級の中心になつて民族的に団結しています。従つて仕事の関係でも、ユダヤ人が多くなります。

＝ のんびりした仕事ぶりだがインフレの経済 ＝

ブラジル市民の日常生活は雑多の人種が入りまちつていますが日常会話はポルトガル語です。宗教はカソリックで、日曜は必ず休む習慣で私等も日曜に仕事をして注意された程です。

150年程前に独立した国ですが、それ以前に相当数の黒人がつれてこら

れ、住みついています。

ヨーロッパ並に昼休みは長く、11時～2時まで休み、夕方は5時までしか仕事をしません。従つて日本よりずっとノンビリした仕事ぶりといえるでしょう。

たゞ物価はインフレで非常に高く私のいた時は1ドル＝120～130クルゼルであつたものが今は1,200～1,300クルゼルと10倍になつてゐるようです。

従つてドルを持つていれば良いが、働いて外遊しようなんてことは困難で苦勞しました。私のいた時は1920年代の床板のはがれた古いバスも走つていましたが、ドイツの自動車産業と提携してホックスワーゲン等の国産自動車ができ、帰国するころにはオンボロバスもなくなりました。

女性は20才までは大変きれいで、特に白人と黒人の混血は大変美人ぞろいです。然し結婚するとふとつてバスの関所（出入口が別で中央で料金を取るところ）も通れなくなる人もいます。

主流は南欧的スタイル

===== 家具用材も豊富に =====

家具の現状は一般的には南欧的スタイル集積といつて良いでしょう。特にブラジルのというのはつかみにくい実情です。

上物は、デーニシュのイミテーションやノルの代理店の家具等が主なものになつてゐます。

材料は森林の多い国で次のようなものがあります。

1. ジャカランダー

日本のローズウッドのような木で金属のように強く堅い材料で銀行等の上物の家具に使はれ、バイカンツ州等で産出します。

2. カリューナー

堅い木目のはつきりした材料

3. ピンネル

ブラジルの松といった感じで気軽に使える材料，家具に使う場合は最低級品である。

知人を御紹介下さい

—— 賛助会員募集にあたつて ——

理事会の決定で東京支部担当になつた賛助会員適格会社に新春から役員が入会のおすゝめに、歩いています。が業務関係のお知りあいとか知人を御紹介下さればお話しもしやすくなりますので御紹介下さい。

協会が入会をおすゝめしている会社は主として家具・インテリアに関係ある一流材料メーカーで、合板，繊維板，プラスチック，メラミン化粧板，床材，弾性材，石材，金属，硝子，塗料，電気繊維，ブラインド等の各分野にわたっています。

事務用家具は金属製は少ない，ほとんど木製で工業の遅れが原因であると思う。スチール製家具を使っているのはアメリカ系の会社です。現在はもつと増えていると思いますが……。

流通過程は，安物の家具は問屋を通して流れますがほとんど見るものはあ

りません。

高級品はデコレーターを通じて消費者の手に渡ります。仕上げはつやのあるものが好まれ、はで好きで渋さはわからないようです。

日本調もアメリカのあとを追っていますが屏風、提燈、富士山、芸者、クラスで本当のものはわかつていません。

2・3の芸術家は日本をあこがれ、畳を敷いて喜んでいますがこれは例外です。

—— 活躍するニーマイヤー ——

ブラジルというとニーマイヤーの仕事とブラジエリアの建設に感心したものがあと思います。たしかに建築界の代表としてはニーマイヤーで、戦時中世界各地が戦乱の中にあつた空白時代にブラジル建築を作りあげました。リオの文部省《基本設計コルビジエー実施設計ニーマイヤー》に代表されます。

ニーマイヤーの建築はコルビジエーの精神が基本になり、ポルトガル・バロックが結びついて相反するものが芸術的にむすびついている点に特長があるように思いました。

昔（16世紀以后）さかえた金を堀る町にも行きました、がこゝにはニーマイヤーに通じるような美しいリズムカルな曲面の屋根や壁で作られた家がたくさんありました。

新しいものに対して意欲的な国民性が新建築を支える力になつていることも無視できません。

☆ 黒人の労働力で築くブラジエロ ☆

ブラジエリアの計画が実現するまでにはニーマイヤーの先生にあたる、レチオ・コスターの力が大きかったようです。

ブラジエリアという都市は密林の真中でブラジル中心にあります。リオから飛行機で2時間、バスだと24時間もかかります。水の少ない土地で人造湖を作つてあります。土はレンガ色、密林の中にこつぜんとはれた町です。空から見た町は飛行機の形をしており、頭部が大学、尾翼が大統領官舎、両翼が商店街とアパート、胴体が官庁街になつています。ディテールはおそまつでまだ未完成なのに施工が悪いために最初に作つた部分でこわれているもあります。

この街を作つたのは近くの黒人の町の労働力でニーマイヤーの設計になるモダンなピロテールが黒人の安い労働力によつて積み上げられた石でできていることを知ると、なんとも云えぬ矛盾を感じました。

(文責事務局)

会員の近況

伊藤 利一（コスガ）

第四回日本の家具展J.E.F.M.A 主催ロス展出品のdining set (K.K
コスガ)製作を完了,2月7日に発送の予定です。

国内でも3月20日頃同時展を三越で行なわれます。

原 好輝（東横） 下記に自宅を転居なさいました。

神奈川県川崎市新丸子東2の908 小川方

水之江忠臣（フリー） 前川建築設計事務所を38年11月末日で退職し
フリーデザイナーとして活躍されます。

連絡場所 世田谷区烏山町1-161 烏山松葉通住宅722号

TEL (321) 3127~9 内線82

西海 健彦（フリー） 38年12月1日より日比谷三信ビル1階にショ
ールームを設けられました。

SHOWROOM KAI INTERIORS

TEL (591) 8759

鈴木 栄二（睦屋） 「室内」12月号('63) 新人登場に鈴木富久
治氏より推薦されました。

高須 英彦（白木屋） 国鉄青函連絡船津軽丸（浦賀重工建造）一等指定
席他各客室の室内設計中で3月竣工です。

渡辺 優（フリー） 事務所を原宿駅前の下記に移転されました。

渋谷区穂田3-178 森ビル

TEL (401) 5245

内線2

(408) 9315

渡辺優デザイン事務所

森田 良夫（パシフィック ハウス ジャパン）

台湾の台北に国賓大飯店の設計中で、台北—東京間を行ったり来たりで多忙の日々をお過しです。

日本室内設計家協会東京支部

東京都港区芝田村町5の15 今成ビル内

TEL (431) 4903

振替東京76389